

どうなる？

どうする？

“ながてん”周辺

阪急長岡天神駅

“ながてん”的愛称で親しまれる阪急長岡天神駅。本市の中心市街地にある駅周辺が、動き始めています。これまでの歩みと、現段階の計画案をお伝えします。これからのがたんへの皆さんの意見も募集しています。

問 まちづくり政策室 長岡天神駅周辺整備係

☎ 955-9719 FAX 951-5410

長岡京市に残された「最後の宿題」

市の玄関口である阪急長岡天神駅。「まちの顔」として多くの市民や来訪者を迎えてます。しかし、昭和の時代に整備された街並みが残る駅周辺は、交通広場もなく、狭い道路、建物の密集、慢性的な交通渋滞など、さまざまな課題を抱えています。

駅周辺の整備は、約70年前の昭和32年に「開田地区土地区画整理事業」が計画されました。社会情勢の変化などにより手つかずとなっています。

この間、JR長岡京駅西口再開発や阪急西山天王山駅の周辺整備を優先的に取り組み、“ながてん”周辺整備は「最後の宿題」として残されてきました。

動き始めた“ながてん”

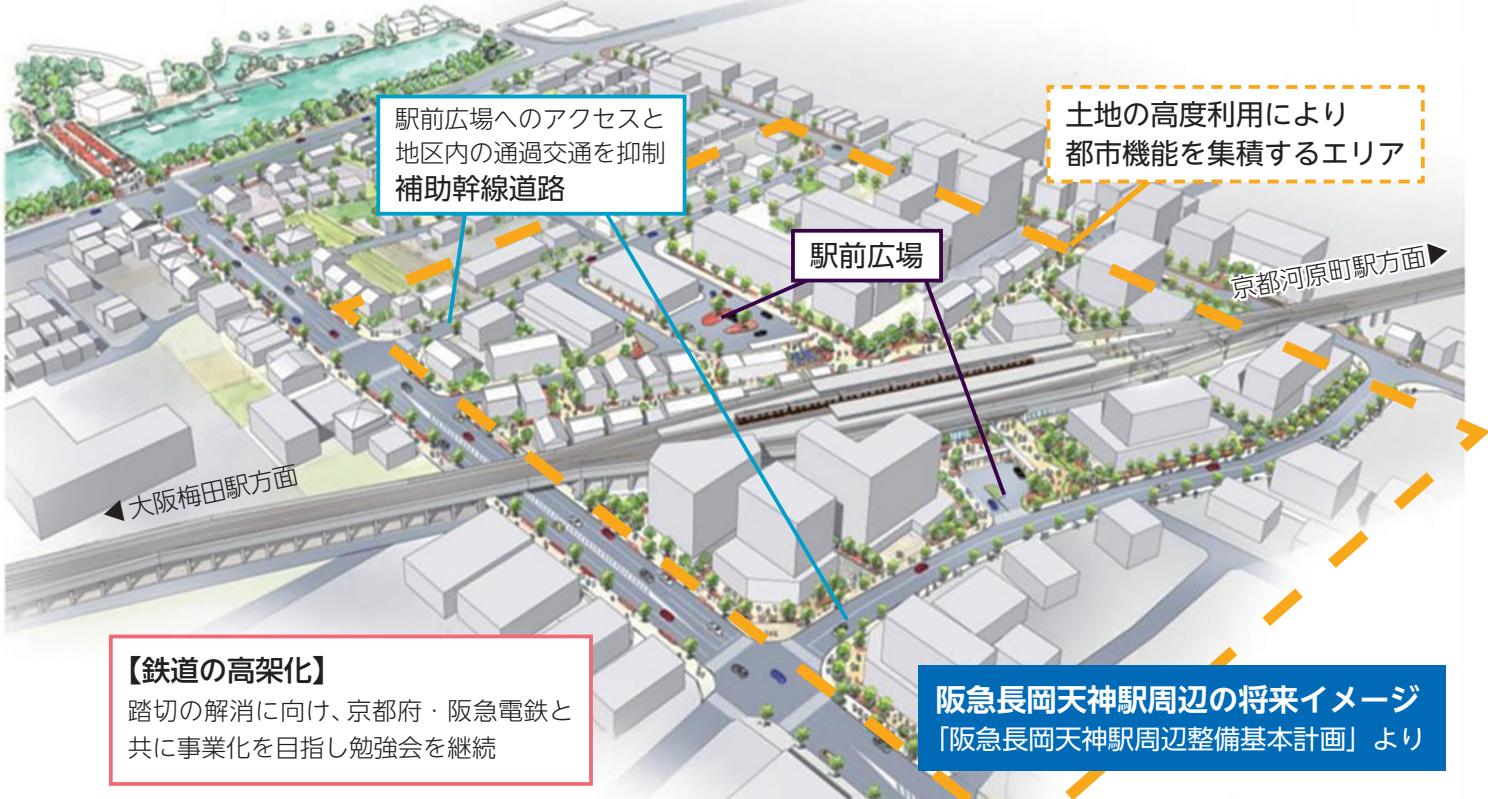
そんな中、平成27年に駅周辺地域の皆さんを中心にして長岡天神駅周辺のまちづくりを検討する協議会が立ち上げられ、平成30年には、駅周辺の将来像を描いた「まちづくり基本構想」が市に提言されました。

この提言を踏まえ、市では、“ながてん”周辺整備の指針となる「阪急長岡天神駅周辺整備基本計画」を平成31年3月に策定。その後も、地権者の皆さんと具体化に向けた検討を続け、着手できるものから順次進めています。

「ながてん」周辺のさまざまな課題



①道幅が狭く安心して歩けない ②踏切による交通渋滞 ③救急や消防活動を十分に行うスペースが不足する駅周辺 ④駅前にロータリーがなく送迎の路上駐車が通行を妨げている ⑤低い建物が密集している駅西側周辺。利便性を生かした土地の有効活用が期待される



【鉄道の高架化】

踏切の解消に向け、京都府・阪急電鉄と共に事業化を目指し勉強会を継続

阪急長岡天神駅周辺の将来イメージ 「阪急長岡天神駅周辺整備基本計画」より

コンセプトは「ひと中心の賑わいのあるまち」

「基本計画」では、市の玄関口である長岡天神駅周辺を魅力的な都心拠点として整備するため、まちづくりのコンセプトと実現に向けた4つの目標を掲げています。

- 1 安全・安心で楽しく回遊できる 人にやさしいまち**
歩行者や公共交通が優先される道路空間の創出
- 2 駅を中心として人が集い交流するまち**
誰もが利用しやすい空間を作り
駅からまちへの人の流れを生み出す
- 3 歴史と賑わいを感じるまち**
地域資源を生かした、まちの玄関口にふさわしい
都市機能を集積
- 4 便利で良質な住み心地の良いまち**
駅近の利便性と長岡天満宮などの地域資源を
身边に感じられる便利で良質な住環境

INTERVIEW

ポテンシャルを生かしたまちづくりを

長岡天神駅周辺
まちづくり協議会
会長 橋本 光夫さん



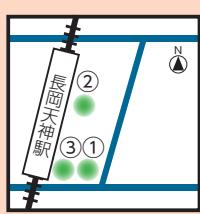
協議会の会長を引き受けたのは、踏切によって救急車や消防車などの通行が妨げられる状況を改善したいとの思いからでした。

阪急電車の特急が停まることは、まちの価値を高める点ではとても重要です。そしてわがまちは歴史を生かした観光資源にも恵まれています。大阪と京都の中間に位置し、多くのポテンシャルを持つこのまちが少しづつでも進化を続けていくことが重要なと思います。

今後も各地の先行事例を参考に「安全・安心」は当然ですが、「防災や環境」にも配慮した、頼もしく温かなまちになってほしいですね。

駅東地区 段階的なまちづくり

駅東地区は、これまでの検討の中で、将来的な高架化工事期間中に仮の線路の敷設を想定していることから、段階的なまちづくりを進めています。



①送迎用ロータリー

駅南東の駐輪場跡地に送迎用ロータリーが12月にオープン予定。30分無料の時間貸駐車場約20台を備え、駅への送迎が便利に



待ち合わせやくつろぎの空間として
親しまれている



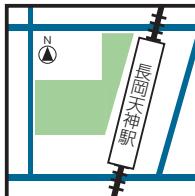
昨年5月オープン

西 駅西地区 再開発準備組合が設立

駅西地区は、高架化の影響が少ないことから、完成形のまちづくりを目指して令和2年から地権者の皆さんとの検討を続けてきました。

令和5年には、地権者による検討会が設立され、西地区のまちづくりの未来構想を描いた「西地区整備計画」が昨年7月にまとめられました。

JR長岡京駅西口と同じく市街地再開発事業による整備が計画され、昨年11月には準備組合が設立。約2年間かけて、施設計画や事業の実現性などの検討を深め、「事業実施計画」を作成します。現時点で事業化が決定されたものでなく、地権者との対話を重ねて進められます。



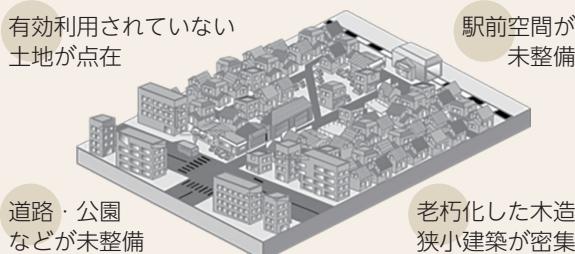
想定スケジュール

- 着工まで 約10年
 - ▷ 事業実施計画の作成（約2年）
 - ▷ 都市計画手続き（約2年）
 - ▷ 事業認可手続き・本組合設立（約2.5年）
 - ▷ 地権者との合意形成（約2年）
 - ▷ 解体・建設工事（約3～5年）

市街地再開発事業の概要

- ①駅前広場などの公共用地を創出するために、敷地を共同化して高度利用
- ②地権者は再開発ビルの住宅や店舗などへ権利を置き換え
- ③高度利用で生み出した住宅などを売却して事業費へ

整備前



整備後



イラスト出典：国土交通省

二十歳の祝典で
新ハタチに聞いた！
どんなまちがいい？



こにし はる 小西 陽さん、森 鼓太朗さん、瓜生 奏楽さん

- ①長岡京市って、どんなまち？
- ②これからの“ながてん”周辺、どんな風になってほしい？

①都会と田舎のバランスがちょうど良くて住みやすい ②今の駅前にも満足しているが、友人たちと集まって夜ご飯を食べられる店が増えるとうれしい。西口の慣れ親しんだ飲食店は残してほしい。特に西地区は長岡京市らしさを感じる駅前になってほしい



しげい なつみ 滋井 摽美さん、よしむら さきの 吉村 咲乃さん

- ①自然豊かだけど便利
- ②ゲームセンターなど娯楽が増えるとうれしい。友達と行けるカフェやご飯屋がもっと増えると便利だと思う



はらぐち ここあ 原口 心愛さん、たかはし ゆう 高橋 優さん、たにがわ あやね 谷川 彩音さん、まつやま ななか 松山 奈菜加さん

- ①京都にも大阪にも近く立地が良い
- ②プリントシール機の設置など、遊べる場所ができるとうれしい

人気コーヒーチェーン店の出店を望む声も

将来にわたって選ばれるまちに

長岡天神駅西地区
再開発準備組合
理事長 湯浅 一朗さん

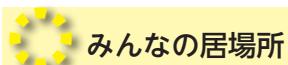


“ながてん”周辺は、これまで何度も検討されながら、整備されずにきました。このままでは、周辺の都市に取り残されるのではないかと危惧しています。

人口減少社会の中で、私たちの子どもや孫たちの世代に、将来にわたって選ばれるまちにしたいとの思いがあります。また、災害への備えも重要だと考えています。

ようやく準備組合としての一歩を踏み出し始めましたが、地権者の中には不安に感じている方もいらっしゃいます。焦らず、じっくりと、一人ひとりの思いに耳を傾けて、ご理解とご協力を得ていくことが、私たち準備組合の役割だと考えています。

まちづくりビジョン 「多世代が集い、未来へつながるまちづくり」



にぎわいの拠点となる
広場、多世代が快適に
集う居場所

楽しい散策

ひと中心の駅前、
回遊性の創出

思い思いの使い方

多様な世代やライフス
タイルに対応する施設

心惹かれるまち

新しい魅力づくり、
まちの魅力の発信

交通広場（約 2,500 m²）

- ▷ コミュニティバス・タクシー乗降場
- ▷ 自家用車乗降レーン
- ▷ 送迎用待機スペースなど

芝生広場（約 500 m²）

来街者駐車場（約 230 台）

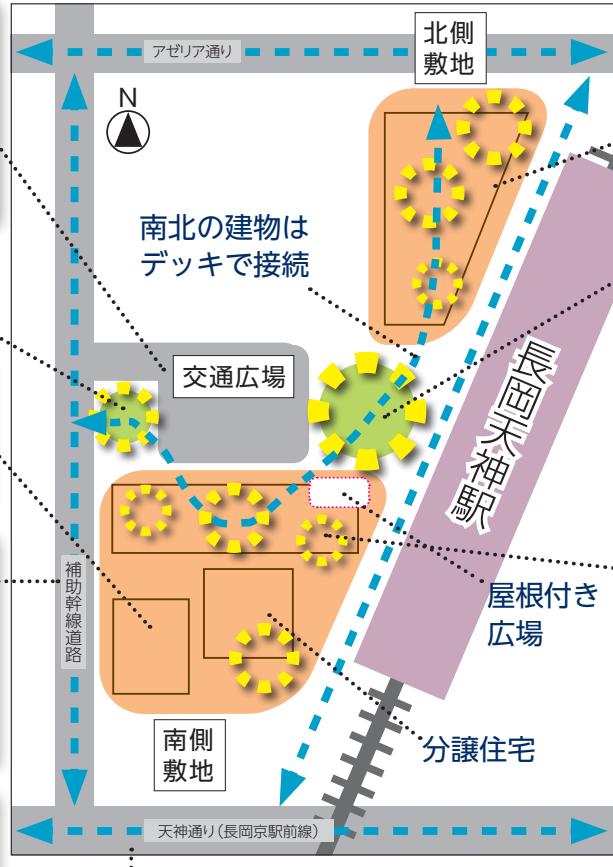
ひと中心の駅前空間とするため駅から離れた位置に整備

【関連事業】補助幹線道路

交通広場へのアクセス道路として、南側から先行して整備。南から 60 m の 1 工区は令和 10 年度供用開始予定

【街路事業】長岡京駅前線

第 4 工区（踏切の東西約 223 m）は令和 10 年度供用開始予定



* 現時点の計画であり決定したものではありません。
社会情勢や需要調査などを踏まえて決定します。

* 阪急長岡天神駅西地区市街地整備事業 地権者検討会『西地区整備計画』より

これからの“ながてん”に
あなたの声を聞かせて！

ウェブ上で気軽に意見やアイデアを投稿できる「Voice NAGAOKAKYO」では、“ながてん”西地区のまちづくりについての意見を募集しています。

各 QR からアクセスして、これからの“ながてん”へあなたのアイデアを聞かせてください。

テーマ 1

“ながてん”周辺にあつたらイイな
と思うモノや、やってみたいコトは？

<例え>…

- ・雨天でも遊べる公園
- ・放課後に過ごせる場所
- ・仕事帰りに寄れるスーパー



テーマ 2

あなたが思う“長岡天神らしさ”
ってどんなイメージ？

<例え>…

- ・長岡天満宮の落ち着いた雰囲気
- ・地元産品
- ・竹をイメージしたデザイン



センス長岡京でも
“ながてん”的まちづくりを
紹介しています！

“ながてん”周辺整備にかける
職員の思いや、送迎用ロータリー
誕生秘話などを紹介しています。

SENSE
- NAGAOKAKYO -

